



The service club to the YMCA  
**THE Y'S MEN'S CLUB OF**  
**TAKARAZUKA**

宝塚ワイズメンズクラブ  
 〒 662-0977 西宮市神楽町  
 5-23  
 西宮 YMCA 内  
 Tel (0798)35-5987



“ TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIS EVERY RIGHT

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL OF Y'S MEN'S CLUBS CHARTERED MAY 22,1988  
**宝塚ワイズメンズクラブ 2024年7月会報 第427号**

**主 題 ・ 標 語**

国際会長(I P) A Shanavaskhan (A・シャナヴァスカーン) (インド)

主 題 “Togeter for a better World” 「より良い世界の為に、共に」

スローガン “Arise and Shine” 「立ち上がろ、そして輝こう」

アジア太平洋地域会長(AP) Joan Wong(ジョウン・ウォン)(香港)

主 題 “Make a Great Impact “ 「大きなインパクトを起こそう」

スローガン “Be Bold and Serve by Faith “ 「大胆に、信念をもって奉仕しよう」

西日本区理事(RD) 鷗丹谷 剛 (神戸)

主 題 つなげよう地域と世界、YMCA と共に

スローガン 楽しもうフェローシップをポジティブに

六甲部長 小野勅紘 (西宮)

主 題 一人は万人のために、万人は一人の為に

スローガン Y (YMCA) ・ Y (ユース) ・ W (ウィン) ・ W (ウィン) の関係で互いに支援しましょう！

宝塚クラブ会長 長尾 亘

主 題 楽しい例会があって、YMCA・地域活動を大切に！

今月のテーマ :キックオフ

新年度スタートです。ワイズメンズクラブを、自分の活動を家族、友人、知人、そして社会全体にアピールしましょう。

広報・情報委員長

荒川恭次(名古屋グランパス)

2024年7月例会(ハイブリッド)

日 時 : 2024年7月10(水) 18時30分

場 所 : 宝塚市西公民館(ZOOM 可)

会 費 : 1500 円

ドライバー 多胡葉子 若林成幸

開会点鐘 石田由美子直前会長

ワイズソング 全 員

聖書朗読・祈祷 青柳美知子

ゲスト・ビジター紹介 石田由美子直前会長

役員交代式

部長公式訪問 小野勅紘(西宮クラブ)

会 食

総 会

1)新年度活動方針

2)決算報告 3)予算審議

YMCA報告

誕生日のお祝い 長尾 亘会長

ニコニコファンド

閉会点鐘 長尾 亘会長

2024~2025 役員	会 長 長尾 亘 副会長 多胡葉子 福田宏子 書 記 若林成幸 会 計 小林康男 郡家 学 会計監査 石田由美子 風早寿郎 担当主事 橋本 唯 ネット連絡 小林貴美子 直前会長 石田由美子
7月 誕生日	な し
6 月 実 績	例会出席者数 18 名(ズーム3名) 在籍会員数 18 名 出席会員数 11名(内ズーム1名) 出席率 61% メイクアップ(内数) 0名 ネット・コメント・孫ネット 2名(内ズーム0名) アソシエイト会員 2名(内ズーム2名) ゲスト・ビジター 3名(内ズーム0名) 例会充足率 100% ここにこBOX 7,000 円 <b>累 計 54,900 円</b> ファンド(ジャガイモ) 累 計 253, 344円 (豚肉) 累 計 20, 200円 (真菰茶) 累 計 23, 300円 (タカラムネ) 累 計 40, 115円 総 計 336, 959円

## 聖句

あなた方の中で偉くなりたい者は、皆に仕える者になり、  
いちばん上になりたい者は、すべての人の僕になりなさい。

(マルコによる福音書 10 : 43 - 44)

## 随想

宝塚歌劇団員の方の自殺はショッキングな事件でした。本当に気の毒な事例で、報道されていた責任問題などが議論されるのは当然だと思いますが、それとは別に、改めていわゆる「体育会系」が幅を利かせる日本の文化的風潮の問題を思わずにはいられませんでした。歌劇団だけの問題ではなく、社会全体に今も残っている文化的風潮です。

例えば看護学校なども長い間、先生や先輩からビシビシしごかれる「体育会系」的な教育が一般的だったようです。もちろん良い面もあって、それで鍛えられて一人前に成長できたという人がたくさんいるのも事実です。しかし同時に看護師の離職の大きな要因の一つには必ず、パワハラ的な言動を含む職場の人間関係の問題があるのもまた事実なのです。間違いの許されない生死に関わる職業なだけに、通常ではありえない厳しい言葉での叱責も許容されてしまう風潮があるのかも知れません。

指導する側、運営する側に立とうとする人間に対し、「仕える者になりなさい」との教えは、現代の日本社会にもやはり必要なのだと思わされます。かつて職場に

「サーバント・リーダーシップ」を標榜しながら、実際の運営は独裁的な方がおられました。「彼はサーバントを探しているリーダーだった」と後に別の方が評していました。実際に自ら仕える者になるというのは、やはり言葉でいうほど簡単ではないということでしょう。特に日本社会では、パワーで押しないと物事が進んで行かないという文化的風潮があるのだと思います。それで結局、運営責任者はそういう性格になっていく。職場のパワハラは一向になくならないわけです。

つまり、イエスの「仕える者になりなさい」は、単に個人の心掛けを教えているのではなく、コミュニティ全体が、社会全体がそういうものにならないといけないということでしょう。パワーで押しなくても、互いに支え合い、仕え合うことで物事が進んでいく、そういういわゆる「共生文化」社会の一員になることを意識しなければならないのだと思います。

金田俊郎

## 会長挨拶

2024-25 年 会 長 長 尾 亘

今年の 5 月に喜寿(77歳)を祝っていただきました。77年間で1番永く続けてきたのが18歳から50歳までの32年間ボーイスカウトに関わってきた事と思っていました。しかし、ワイズメンズクラブに大阪土佐堀クラブに入会して今年は37年目で偶然宝塚クラブも37年です。ボーイスカウト活動を超えました。そして、宝塚クラブで3回目の会長に成ります。大阪土佐堀クラブ入会で教わったのは一番の主役は「会員一人ひとり」でそれを纏めるのが会長であり、全員集まるのが例会であると教わってきました。



今年の会長標語を「楽しい例会があつて、YMCA・地域の奉仕活動を大切に」としました。例会を楽しみましょう。

## 6月第1例会報告

宝塚ワイズメンズクラブ 6 月例会は石田会長の開会点鐘により開始、司会若林ワイズにより、ワイズソング、聖書朗読、祈祷があり、大阪茨木クラブの清水真一氏 2024-2025、西日本区 EMC 主任の紹介と講師松田康之氏の紹介があった。



能登半島地震に日本 YMCA 同盟の依頼を受け 1 月 15 日よりいしかわ総合スポーツセンターにおける 1.5 次災害運営支援活動報告を元神戸 YMCA 職員の松田氏から映像を交えて現状と課題などお話を伺った。日本 YMCA 同盟の動き、能登半島地震の現状、1.5 次災害支援の位置付けや 55 日間運営アドバイザーとして現地で様々な活動されたことについて報告していただいた。全国 YMCA から 3 月末から順次 35 名が 3 月末まで派遣された。5 か月たっても倒壊家屋が多く、元来過疎化の地域であり人口の流失が止まらない現状がある。

しかし、過去の災害から学び 1.5 次災害避難所という新しい取り組みにより 1.5 次災害避難所で 2, 3 日間過ごし 2 次避難所にマッチングするというシステムはかなり有効に機能していた。介護、病院機能も用意され、避難所にかかわった団体は毎朝会合を持ち情報交換をし、また避難所運営の一部を外部委託、例えば、阪急交通社やホテルとの連携、食事やアクティビティの質を高めるなど



して効率的に動いていた、YMCA の役割としては人と人をつなぐ役割を担当した。地理的な問題もあり圧倒的にボランティアが足りない現状はあるが、過去から学んで新しい災害救援の仕方がある程度機能している。しかし現地の高齢化や過疎化の元来から抱えている問題が復興を遅らせている現状がある。YMCA の人と人をつなぐという役割は災害支援の現場では大きな役割を担っていると感じた。松田氏にはまたデンマークでの学びについてまた、講和していただきたいと願っている。

年度末であり、会長から 1 年まとめと、各担当部門についての各委員長からの報告があり、神戸 YMCA 報告、6 月誕生日を祝い、石田会長最後の点鐘をもって閉会した。

武田寿子

## 6月第2例会報告

日 時：2024 年 6 月 19 日（水）18：30～20：30

場 所：西公民館会議室

出席者：石田会長、長尾次期会長、小林、郡家、多胡、武田、若林

議事要旨：

### 1. 7月第1例会の運営

新年度キックオフ例会で役員交代式と活動方針・決算・予算の審議等を行う。小野勅紘ワイズ（西宮クラブ）を迎え六甲部長公式訪問とする。

### 2. 六甲部第1回評議会の出席者について

評議会が7月6日（土）14時から神戸YMCAにて開催される。会員の1/3以上の出席を要するが、前回2024年3月の評議会にて「委任状提出」「Zoom参加」を認め出席人員に算入することが決議されたにも関わらず、「委任状書式が未整備」を理由に改正前の上までの運営との通知があった。未だ改正条文も示されていないことも課題ではあるが、前回評議会以降の六甲部役員会の不作為に不満が出た。その後、議事録の再確認が行われ議決通りの運営がなされることになった。

結果、リアル出席者6名（長尾・石田・多胡・武田・若林・鯖尻）+委任状提出（小林・郡家）で臨むこととなった。

### 3. 今後の例会運営について

今後の卓話候補等を挙げ、次の案を軸に調整を行うことになった。

8月は六甲部合同納涼例会（詳細未定）に合流。9月稲村俊昭氏（京都美術工芸大学 建築学科特任教授）。10月は中野祥子氏（マハロ初代メンバー・(株)Matka 代表取締役）。11月西村隆夫氏（タイ在留・Zoom参加）。12月14日（土）クリスマス例会（大阪土佐堀クラブとの合同・香櫨園のイタリアンにて）とする。なお、恒例の会長等ご苦労さん会は8月中～下旬に樋之内宅（元ワイズ・三田市）での開催案があり福田宏子ワイズに調整をお願いする。

### 4. 地域活動との連携について

TIFA（宝塚市国際交流協会）関連事業（NGO展・宝の市・ロビー・ディスプレイ）が活性化しNGO理事会等に上手に参加することが求められる。小林事業委員長のみでの対応が難しい場合は、その都度代替りの委員を選ぶこととした。

### 5. ブリテン

7月号ブリテン編集は長尾ワイズが担当。記事分担：6月第1例会＝武田、第2例会＝若林、西日本区大会＝石田・多胡・青柳・福田・若林、特定外来生物駆除作戦と綿の種植え＝多胡、自立の家コンサート＝若林。原稿締切り⇒6月25日。

### 6. その他

① 市民クリスマス委員に清水ワイズの加入を承認。コンサートの特別出演者として若林ワイズから元宝塚歌劇団（95期生）・楓ゆき氏を迎えることが提案され承認した。詳細は委員会で検討する。

② 小児ガン闘病支援「笑顔を守るクラウドファンディング（目標100万円）」（発揮人：風早ワイズ）について協議し、クラブから支援金5000円の拠出と有志の募金協力を承認した。

- ③ 「壁がなければアート展」(アソシエイト山田早弓氏が主宰) 7/13, 8/18, 9/22、11/16、宝塚芸術文化センターにて。
- ④ 西日本区理事鶴丹谷氏の活動支援金(2年分)として、宝塚クラブから10万円+個人寄付を部会計あてに送金を了承した。
- ⑤ 7月総会資料の作成を各事業委員長に依頼(別途メール)。原稿締切り7月3日(水)若林まで。

書 記 若林成幸

## 第 27 回西日本区大会を終えて

2023-2024 会長 石田 由美子

2024年6月8日(土)、名古屋市公会堂で開催されました。以下は参加項目ごとに報告、感想です。

- 1. 前夜祭 6月7日(金)、18:30からJR金山駅側、ANAクラウンプラザホテルグランコート、28階のスカイバンケットで開催。素晴らしい夜景、お食事、久しぶりの交流に花が咲きました。
- 2. 年次代議員会 6月8日(土)、10:00から名古屋市公会堂で89名参加。

11件の議案、各部活動報告、各事業報告がありました。案じていた通り、2025年8月熊本で開催のアジア太平洋地域大会支援金についての意見・質問などが大きく時間を延ばしてバナーセレモニーを控えている会長達には休憩ほぼなしの厳しい展開になりました。

単日開催であるため時間配分にはホストクラブは頭を痛めていたと思いますが残りのプログラムはスムーズに進みやれやれです。この辺りは来年の神戸大会の参考になりました。

懇親会は隣の駅の金山、ANAクラウンプラザホテルグランコートへ移動。

大宴会場の収容人員を大幅にオーバーした570余名のため会場は2ヶ所に分れ私達はDBCの鹿児島クラブと一緒に別室になりましたが交流を深める事が出来てよかったですと思います。

懇親会後の鹿児島クラブとのDBCナイトは、京都ウエルクラブ、京都洛中クラブ、東日本区の富士五湖クラブ等から17名が集まり夜遅くまで賑やかな時が続きました。

- 3. 観 光

多胡ワイズ、福田ワイズとぜひ行こうと計画していた徳川美術館へは深谷聡理事

のご厚意でミニバスツアーが可能になり成熟した江戸文化を目の当たりにした後名古屋城へ。充実した名古屋の3日間でした。

来年は六甲部がみなさんをお迎えします。楽しい思い出を持って帰って頂きたいです。最後に、メンバー、メネット、アソシエイトのみなさまの1年間のお支えに感謝致します。



## 多胡葉子

西日本区大会では福田 h ワイズと大会開催前の午後 12 時に会場である名古屋市公会堂に入った。宝塚クラブからは石田会長、若林、青柳、福田 h、多胡の 5 人が参加。



コロナが 5 類に移行しての初めての大会にホストの中部の懐かしいメンバーに出迎えていただき、大会前の賑やかさは大会の醍醐味である嬉しいひと時。

大会での様子などは他の方々に任せて私は大会後一泊をして翌日に石田、福田 h、と私の 3 人は思わぬ名古屋観光の 1 日を過ごすことができた。

深谷理事が用意してくださった観光バスに便乗。26~7 人のメンバーで徳川美術館、名古屋城へのバスツアーの恩恵に与っ

た。

お天気にも恵まれ思わぬ幸運の観光バスでの市内観光は同乗の九州部、六甲部、京都部などのメンバーの方々と大いに交流のひと時を楽しんだ。

## 若林成幸

第 27 回西日本区大会が 6 月 8 日（土）名古屋市で行われた。次の第 28 回大会を六甲部の 7 クラブがホストクラブを担うということもあって、プログラムや運営の隅々にまで触覚を延ばし、アラ探しならぬ神戸大会へのヒント・ネタ探しのようないでの参加だった。単日開催とか集客の見込み違いのため実行委員は軌道修正を余儀なくされたらしいが、概して円滑に運営されていたと思う。あえて幾つかの事項を指摘し神戸に備えたいと思う。

- ① 代議員会はいつも時間との闘い、議案が多く質疑時間が不足しがちで答弁もいまいちだ。予め質問書の提出を義務づけ質疑時間の充実化を目指しては如何なもんか。その上、大会時の報告は単なる「賛成多数で承認」の連発で味気ない。
- ② バナーセレモニーは各会長が予め舞台上に着席しバナー行進がなかった分、時間節約だった。神戸大会では舞台上に 20 人程が並ぶことが出来るひな壇を 3 段仕込み、舞台中央で理事と握手してひな壇に残る様にしてみたい。全クラブ会長が掲げるバナーが一斉に花開く様は、きっと楽しいだろう。BGM も CD よりピアノ生演奏が良いと思う。メモリアルアワーの BGM もピアノ生演奏にしたいところだ。
- ③ 大会が終わり約 1 時間の休憩（ホールのどんでん）はパーティー会場が別のホテルを使用したため移動時間となってしまったが、神戸大会ではこの時間帯の活用が売りになる。名古屋では会場で Welcome Drink が振る舞われ好評だったが、ちょっと長かった。その後のバンド演奏も長目で、食事時間が窮屈になり、参加者紹介すらなくなってしまった。パーティーは交流の基本であり食事を楽しみつつ楽しい交流ができるように工夫すべきである。各テーブルには参加者名簿が 1 部ずつ置かれていたが、やはり全員に配るべきものかと思う。

これらのヒントを生かして神戸大会に備えるべく実行委員会に提案し、ホテル側と折衝するつもりである。

### 西日本区大会メネットアワーに参加して

6 月 8 日の西日本区大会メネットアワーは大会直前の午前 10 時から名古屋市公民館 4 階のホールで 56 名の参加者があり、盛会だった。

熊本ジェーンズクラブの吉本典子メネット委員代表の挨拶の後、今期と次期の役員の紹介があり次期代表に六甲部神戸ポートクラブの大野智恵姉が紹介された。



その後、楽しみにしていた、西日本区チャプレンの立野泰博牧師の「子供食堂って面白い」の講演を聞いた。子供食堂と云うより、コロナ禍で壊れた地域の再生や、親の見守りから孤立、孤独、個食の人達、子供のセーフティーネット作り等地域社会のひずみに踏み込んだ地域型みんなの食堂だった。毎月 2 回の夕方 16 時～19 時まで、参加者は子供だけでなくシングルファミリー、貧困家庭、DV 被害者、生活保護受給者、ホームレス等、180～200 名を超える食堂を同時に 2 か所で行っている。材料の多くは色んな所からの支援、フードロスの利用等ある物を使って為されている。ボランティアも広島 YMCA, ワイズメンズクラブ、その他高校生、大学生もシニアの人達などどんどん集まってきている。目指すものは「笑顔を大切に、みんなでワイワイガヤガヤ食べる」事です。と話された。

立野牧師は教会から出て社会の弱者と共により良い地域社会の実現に懇親の力を捧げておられ深い感銘を受けた。講演後の美味しいお弁当や、古くからの、又新しい交流も出来心に残るメネットアワーだった。

青柳美知子

### 第 28 回西日本区大会実行委員会報告

6 月 24 日(月)18:30 から神戸 YMCA で 6 回目の実行委員会開催。

各委員会から進捗状況の発表がありました。

今月は 6 月 17 日に初めて委員会を開いた事務局総務委員会からの報告をお知らせします。

大会当日六甲部メンバーが着用するユニフォームは、T シャツ、又は Polo シャツの何れがいいでしょうか？材質はコットン？それともクールフィット？色は勿論ブルー。

近々、若林ワイズの紹介でそれぞれのサンプルが送られて来ます。

みなさんのご意見もお聞きしたいと思っていますのでお楽しみに・・・

その他、お土産は？来賓招聘は？部会でのアピールは？等々他の委員会が担当しない項目をこれから詰めて行きます。

実行委員会事務局総務グループ

石田 由美子

## 神戸 YMCA 総会にて

今年度の神戸 YMCA 総会が 6 月 22 日（土）午前 10 時から開催された。宝塚ワイズからは若林ワイズと多胡の二人が出席。総会の席で今年度の名誉会員の紹介があり、宝塚ワイズから若林ワイズが受けられた。そして彼から神戸 YMCA・ワイズメンとして 20 数年にわたる関わりの披露があり、名誉会員として推薦された喜びを語られた。総会でのワイズ関係の報告としては第二部で開催されたプログラム、EXPO で六甲部の活動紹介を広報部主催の大野ワイズが映像を通して紹介。宝塚ワイズも先に制作していた TIFA で披露した活動報告の PowerPoint による宝塚クラブの活動を紹介してもらった。

多胡葉子

## CS 活動

### 逆瀬川でのオオキンケイギク駆除大作戦に参加

昨年 8 月の例会でスピーカーとしてきてくださった宝塚市自然保護協会顧問、足立 勲さんのスピーチ、外来生物・植物の向き合い方、対処法などをお聞きした。



その中で宝塚市として取り組んでいる駆除大作戦。逆瀬川に 5 月から 7 月にかけて一面綺麗に花を咲かせている黄色いコスモスに似た花、オオキンケイギクは特定外来生物、その外来生物の大繁殖が逆瀬川の生態系を狂わせているとのこと。宝塚市環境エネルギー課からのお知らせを受け宝塚ワイズもその取り組みに一助。3 回に分けての駆除作戦のうちクラブとしては第 3 回目の 6 月 15 日に若林ワイズ、多胡の二人が参加。

その日は夏を思わせる雲ひとつない晴天。小学生 2 人を連れた家族、三田の職場から、そして自然保護協会の方々、市の職員など約 30 人の参加。足立先生からのレクチャーと駆除方法を聞き駆除へと。一面の花は満開後種になり地上へ落ちる時を待っている花々も。根からごっそりと引き抜き、タネになっているのは地上に落ちないように配慮しながらの駆除。黙々と根を抜くメンバー、賑やかに会話を楽しみながら駆除をするグループと水分を十分に補給しながら、約 1 時間の作業が終わった。周辺の一角は黄色の花々は消えてしまったが、下流に目をやるとまだまだオオキンケイギクの黄色が目につく。気長にまた来年よろしくとの挨拶で散会。

この特定外来生物駆除作戦に参加しながら、SDGs の視点での取り組み、陸の豊かさを守ろうの部分をかきちんと理解しながら取り組み必要のあることを改めて考えさせられたひとときでもあった。

多胡葉子

### はんしん自立の家 あじさいコンサート

6月16日(日)の午後、はんしん自立の家ロビーにおいて第21回あじさいコンサートが開かれ、多胡さんと若林が出席させてもらった。梅雨入りが遅く真夏のような日照りだったが、ロビーを吹き抜ける風が心地よく、舞台を彩るアジサイがサマーコンサートの雰囲気醸し出していた。自立の家の音楽教室で指導をされている3人の先生の企画・演出とお見受けするが、コロナ自粛期を除き20数年間もの長きにわたる奉仕活動の賜物と心も和む、ホーム入居者26人が、女性はカラフルなドレス、男性は黒の礼服を身につけ、お化粧品もしてもらって、それはもうお洒落！ 華やいだ雰囲気のもと、



先生方の二重唱に続いて合唱が始まった。第1部は「大好きな曲・いつもも歌う曲」として「青い山脈・365日の紙飛行機・ありがとう・雨のちハレルヤ」などが声高く表情も明るく披露され、第2部はサウンド・オブ・ミュージックから「虹の彼方へ・エーデルワイス・ドレミの歌」と続いた。さすが21回目とあって出演者は手慣れたもの、ピアノ独奏・独唱も盛り込まれ、30名程のお客様も休日の午後に豊かに過ごすことが出来た。

コンサート、おめでとうございます。

若林成幸

### 西谷へ。綿の種まき作業！

6月19日(水)、若林ワイズの運転でアソシエイトの矢部さんと私の3人で西谷へ。途中夢広場でファミリー劇場のメンバー二人と合流。今年は5人での作業となった。前日の恵の雨のため草拔きはスムーズにできた。お借りする2畝の内1畝はファミリー劇場の方々がさつまいもを、残り1畝をワイズが綿のたねを撒き、大豆を植えた。

昨年の教訓を生かし、草拔きに行けないために全体を黒いビニールシートで覆った方法をとった。2時間あまりの炎天下での作業だったが、途中で冷えたスイカを頬張り、作業後は持ち主の仲さんも交え、美味しいバーベキューに舌鼓。自然の中での楽しい交流のひと時を楽しんだ。

秋の枝豆の時期にはさつまいもの収穫も可能。その時にはファミリー劇場の家族のメンバーも参加予定。ワイズも一緒に綿の収穫も兼ねて交流の時を持ちましょうと。

今年は雑草に埋もれる部分が多少なりとも減り、綿の収穫が楽しめるのではとの期待を持ちながらの綿の種まき作業だった。



多胡葉子



**【YMCA ニュース】**

6月22日(土)、神戸YMCA三宮会館にて2024年度神戸YMCA大会(総会)を行いました。2019年度からは総会を含む神戸YMCA大会として開催しており、神戸YMCAに関わる人たちが法人を超えて、また同じ会員として一堂に会し、世代を超えて繋がり、共に神戸YMCAの歩みを確認し、未来に向けて語り合い、交わる機会と位置付けています。

今年は昼食の時間を挟んで2部制の形をとり、午後からはYMCAEXPOという初めての取り組みを行いました。それぞれが自分の意志で知りたい活動、事業のブースを見に行き、またそこで体験する機会となりました。私自身も保育園・幼稚園のブースで制作を試みたり、ウェルネスのブースでワイズの方や会員の方々とエアロビクスをしたりと、様々なYMCA活動を体験することができました。実行委員会の方々が目指していた、会員の方々との繋がりやYMCA理解の場が生まれていたように感じました。これからもYMCAは会員のみならずとYMCA運動を進めていくことを念頭におき、これからの歩みを進めていきたいと思っております。

2024～25年度前期会費をお願いいたします・

(宝塚クラブ銀行口座)

銀行名 三菱UFJ銀行宝塚中山支店

口座番号 普通預金 4585836

口座名 宝塚ワイズメンズクラブ